

ロンドン、2016年4月21日

Primetals Technologies、中国・日照へエンドレス圧延設備を3プラント納入

- 第1プラントは20ヵ月で稼働を開始
- 第3プラントは15ヵ月で稼働を開始し、22ヵ月で最終検収書を受領
- 現在は主に板厚0.8mmの熱延鋼板を生産

Primetals Technologiesは中国の鉄鋼メーカーである日照鋼鉄集団有限公司（日照）より発注されたArvedi ESP（エンドレス圧延設備）5プラントのうち3プラントについて最終検収書（FAC）を受領しました。厳しい日程にも関わらず全工程を期限どおりに無事完了し、第1及び第2プラントは1月に、第3プラントは4月1日に最終検収書を受領。2013年受注の最初の2プラントは、それぞれ20ヵ月、22ヵ月で、2014年受注の第3プラントは15ヵ月で稼働を開始しました。最大幅1,600mm、最小厚0.8mmの高級極薄熱延鋼板を年間で計765万トン生産する本設備は、炭素鋼、高強度低合金グレード鋼、二相鋼が生産可能で、板厚0.8mmから6mmの製造範囲のうち、現在は板厚0.8mmの熱延鋼板の生産が中心で、1mm以下の鋼板が50%以上を占めています。

同社は、本エンドレス圧延設備の導入により、国内外で有望な高級極薄板製品市場への展開が可能となりました。また、本プラントは全長わずか180メートルと従来の鋳造・圧延設備より相当コンパクトで、エネルギー消費量も最大45%削減、CO2排出量も大幅に抑制されます。

当社は、エンドレス圧延設備のエンジニアリングを担当し、機械設備と関連付帯設備、電気制御システムを納入。ライン全体は、基本オートメーション（レベル1）およびプロセスオートメーション（レベル2）で統合制御され、鋳造プロセスと圧延プロセスの相互調整が可能となりました。本プロジェクトには、オペレータのトレーニング及び立上げサポートの総合的パッケージが含まれており、イタリア・クレモナのAcciaieria Arvedi SpA（アッチェイエリーエ アルヴェディ）社保有のエンドレス圧延設備

で日照側スタッフに技術教育及び実践トレーニングを提供するとともに、新設プラントの立上げと運転を同社のスペシャリストがサポートしました。



中国・日照鋼鉄で稼働開始した Primetals Technologies のエンドレス圧延設備第 2 プラント。

原文プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。

www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

Primetals Technologies Japan 株式会社 総務部

〒108-0014 東京都港区芝五丁目 34 番 6 号 新田町ビル 9 階

TEL(03) 5765-5231

Primetals Technologies 公式ツイッター: twitter.com/primetals

Primetals Technologies, Limited は本社を英国、ロンドンに置き、金属鉄鋼産業にとって、エンジニアリングやプラント建設全般の、世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供します。鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野部門にも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工グループで、株式会社日立製作所、並びに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルテクノロジー社の統合により発足しました。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。発足時の従業員数は全世界で約 9,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト: www.primetals.com

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications
Head: Heiko Huensch

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom